

**「蒸気タービンが低炭素社会に貢献できること。昨今の技術動向紹介」**

蒸気タービンは1882年のグスタフ・ド・ラバルによる衝動式タービンの試作、1884年にイギリスのチャールズ・アルジャーノン・パーソンズ多段階反動式タービンを試作より、約130年の歴史を経ておりますが、現在でもなお世界中の産業界において堅実なニーズがあります。用途は主に機械駆動用、発電用と2分され、発電用の場合にはコンベンショナル火力用、地熱発電用、原子力用から最近では再生エネルギー分野まで広範囲に及んでいます。また、大容量化、高効率化に向けて日々進歩しています。今回のセミナーは、代表数社に現時点での開発の主眼であるテーマを選択頂き、それについて紹介しながら技術動向を把握しようというものです。

- ・協賛（予定）：（社）日本機械学会、（社）電気学会、（社）火力原子力発電技術協会、  
（社）腐食防食協会、（社）化学工学会、（社）日本トライボロジー学会（順不同、予定）
- ・日時： 平成22年7月16日（金曜日） 9：00～16：10
- ・会場： 機械振興会館 6階66室（東京都港区芝公園3-5-8）
- ・参加費： 会員35,000円、 非会員：40,000円、 学生10,000円

プログラム

時間	テーマ	講師（敬称略）
9:00 ～ 9:40	日本における低炭素社会への取り組み	黒石卓司 三菱重工業 原動機事業本部
9:50 ～ 10:30	中小容量蒸気タービンの効率改善事例	阪井直人 川崎重工業 技術研究所 機械システム研究部
10:40 ～ 11:20	ラジアルタービンにおける最近の技術動向紹介	吉田敦 神戸製鋼所 圧縮機事業部
11:30 ～ 12:10	低炭素社会に向けた超高温蒸気タービンの開発動向について	須賀威夫 東芝 火力・水力事業部
13:00 ～ 13:40	高効率超々臨界圧 蒸気タービンの開発	村田 健一 日立製作所 蒸気タービン設計部グループ
13:50 ～ 14:30	地熱発電用タービン	酒井吉弘 富士電機システムズ エネルギーソリューション本部
14:40 ～ 15:20	太陽熱タービン	Alfons Frank シーメンス AG
15:30 ～ 16:10	スチール製超長大最終翼の開発と検証	大山宏治 三菱重工業 原動機事業本部 蒸気タービン統括技術部

- ・ 申込方法：E-mailまたはFAXで、①参加者名、②連絡先住所・電話番号、③社名（学校名）・所属、  
④会員／非会員の別 を明記の上お申し込み下さい。
- ・ 参加費は事前に、現金書留または銀行振込にてお支払い下さい。  
振込銀行：みずほ銀行 駒込支店、普通預金932599 ターボ機械協会
- ・ 申込先：〒113-8610 東京都文京区本駒込6-3-26 日本工業出版ビルターボ機械協会事務局 第93回セミナー受付 係（TEL：03-3944-8002、FAX：03-3944-6826、E-mail：turbo-so@pop01.odn.ne.jp）
- ・ 申込期限：定員になり次第締切ります。申込後のキャンセルはお断りしております。
- ※ターボ機械協会継続教育制度が開始され、各講習会・セミナーに参加されるとポイントが付加されます。  
「本セミナーのターボ機械協会CPDポイントは中級6ポイントです。」

宛先: Fax. 03-3944-6826 ターボ機械協会 受付係  
(〒113-8610 東京都文京区本駒込 6-3-26、  
Tel: 03-3944-8002、E-mail: turbo-so@pop01.odn.ne.jp)

ターボ機械協会 第93回セミナー(平成22年7月16日金曜日)  
「蒸気タービンが低炭素社会に貢献できること。昨今の技術動向紹介」

参加申込書

参加者ご氏名	① ② ③ ④ ⑤
連絡先住所・TEL・FAX・ E-MAIL	(〒    -    )  TEL: FAX: E-MAIL:
会社名・ご所属	会社名:  ご所属: ① ② ③ ④ ⑤
会員・非会員	会員 or 非会員 (いずれかに○をつけてください)

上記 名の参加を申し込みます。